表3.2.2 第二次スクリーニングの優先度評価結果

						第一次ス	クリーニング	1	ds Tre													22115		第	二次ス	クリー	ニング	Him				Section	Jan 1		
4	盛土造成地の位置	0位置 盛土造成地の規模				大規模盛土造成地の抽出					優先度評価											100	Resi	その他											
心点			10011	整面の		谷埋め型	腹付け型	現地で	の確認			①盛出	L/拖壁	の形状	・構造			②变	ţ.				(3) 地	4	⑤造/	或年代	⑥变	助確率			保全	対象	nau.	200	想定
番号	所在地	面積 (m²)	α	e e	高 (m)	面積 3000m ² 以上	原地盤面の 勾配20°以 上かつ高さ 5m以上	必要性	結果	大規模盛土 造成地の種 類	造成年代	のり面勾配	小段間隔	保の護り面	分の傾斜部	構		宅地地盤	搬壁	のり面	周辺施設		下水	不安定土層の下の	造成年代		方式1 による 変動確 率 (%)		特配事項	優先度	住宅	公共施設等	遊輪果 (土質、地下 水(等)	マンク評価	被害形態
1	大字踏瀬	23119	-	-	-	0	- 1	×	_	谷埋め型	1987年~1992年	標準	標準	標準	標準	該当無	該当	無	該当無	無	無	無	無	不明	\$62	後	2.0	小	盛土高が低く大規模な崩壊に至る可能性は低 いと判断。	С	無	農道	無	. 0	変形
3	大字太田川	2857	-	-	_	0	_	×	_	谷埋め型	1976年~1987年	標準	標準	標準	標準	該当無	該当	無	該当無	無	無	無	無	不明	\$51	後	0.7	小	盛土自体がすべり崩壊を生じる可能性は低く、のり面の形状に不安定要因は無いと判	С	無	無	無	е	変形
4	大字太田川	20078	-	-	-	0	_	×	-	谷埋め型	1976年~1987年	標準	標準	標準	標準	該当無	該当	無	該当無	無	無	無	可能性有	不明	\$51	後	2.8	小	下部には湧水が確認されているが盛土自体が 大規模なすべり崩壊を生じる可能性は比較的 低いと判断。のり面に荒廃箇所有り。	B2	無	村道	無	е	崩壞
5	大字太田川	18875	-	-	-	0	_	×	-	谷埋め型	1976年~1987年	標準	標準	標準	標準	該当無	該当	無	該当無	無	無	無	無	不明	\$51	後	2. 0	小	で都には崩壊土の潜在性はあるが壁土自体が大規模 なすべり崩壊を生じる可能性は低いと判断。表層部 に没食崩壊跡等があるため補修を要する。	С	無	無	無	8	崩壊
6	大字太田川	6453	-	-	-	0	_	×	-	谷埋め型	1976年~1987年	標準	標準	標準	標準	該当無	該当	無	該当無	無	無	無	無	不明	\$51	後	2. 0	小	盛土のり面の形状は現状で安定的であると判 断。被害形態は寮南等による表層浸食を要因 としたすべり崩壊と想定。	С	無	村道	無	е	崩壊
7	大字太田川	2318	-	-	_	0	-	×	_	谷埋め型	1976年~1987年	標準	標準	標準	標準	該当無	該当	無	該当無	無	無	無	無	不明	\$51	後	2. 0	小	接斜面上の凹地状地影部を埋めた盛土の範囲 で、盛土高に対して地盤傾斜が緩い事から大 規模な崩壊に至る可能性は低いと判断。	С	無	村道	無	9	変形
8	大字太田川	5599	-	-	-	0	-	×	7-	谷埋め型	1976年~1987年	標準	標準	標準	標準	積ブ ロック	該当	無	無	無	無	無	無	不明	\$51	後	2.8	小	造成面に対して形状はやや商長い谷を埋めた 盛土の範囲で虚土高はやや高いが大規模な崩 壊に至る可能性は低いと判断。	С	無	無	無	е	変形
19	大字踏瀬	22352	-	-	_	0	-	×	-	谷埋め型	1976年~1992年	標準	標準	標準	標準	積ブ ロック	該当	無	無	無	無	無	可能性有	不明	\$51	後	2.8	小	のリ面排水施設の浸食箇所があるが、地山勾 配が緩く現況は安定していると判断。	B2	工場	無	無	е	変形
20	大字踏瀬	10580	-	-	-	0	_ :	×	-	谷埋め型	1976年~1992年	標準	標準	標準	標準	該当無	該当	無	該当無	無	無	無	無	不明	\$51	後	2. 0	小	地山勾配が緩い事から大規模な崩壊に至る可 能性は低い。現況で <u>産</u> 土の形状は安定してい ると判断。	С	工場	農道	無	е	変形
21	大字太田川	31235	-	-	-	0	-	×	_	谷埋め型	1992年~1997年	標準	標準	標準	標準	L型	該当	無	無	無	無	無	可能性有	不明	H4	後	2.8	小	造成面全体に対して盛土高が低く大規模な崩 壊に至る可能性は低いと判断。調整池側のの り面は地下水の影響を受けやすい。	B2	社屋	村道	無	е	変形
22	大字泉崎	87246	-	1-2	-	0	_	×	_	谷埋め型	1987年~1992年	標準	標準	標準	標準	該当無	該当	無	該当無	無	無	無	可能性有	不明	S62	後	1.0	小	造成面に対して盛土高が低く大規模な崩壊に 至る可能性は低いと利断 類整治側ののり面	B2	14戸	国道	無	b	変形
23	大字泉崎	17670	-	-	-	0	_	×	<u></u>	谷埋め型	1987年~1992年	標準	標準	標準	標準	該当無	該当	無	鉄当無	無	無	無	可能性有	無	\$62	後	0.7	小	に排水施設の破損箇所を確認。 経丘接地内の産土であり大規模なのり面崩壊 を生じる可能性は低いと判断。排水施設に破 損・浸食箇所を確認。	B2	工場	村道	無	е	変形
24	大字泉崎	19961	-	-	-	О	-	×	-	谷埋め型	1987年~1992年	標準	標準	標準	標準	L型	該当	無	無	無	無	無	可能性有	不明	\$62	後	1.0	小	盛土高が低く大規模な崩壊の可能性は低いと 判断。造成面の排水施設の機能が不足して り、のり面や排水工周辺の浸食箇所を確認。	B2	無	村道	無	в	変形
25	大字泉崎	15460	-	-	-	0	-	×	_	谷埋め型	1987年~1992年	標準	標準	標準	標準	該当無	該当	無	該当無	無	無	無	可能性有	不明	S62	後	1.0	小	盛土高が低く薄い盛土地盤のため大規模な崩壊の可能性は低いと判断。水路側のり面に表層崩壊跡を確認。	B2	社屋	村道	無	е	変形
26	大字泉崎	18841	-	-	-	0	-	×	-	谷埋め型	1987年~1992年	標準	標準	標準	標準	該当無	該当	無	鉄当無	無	無	無	可能性有	不明	\$62	後	2. 8	小	旧地形に狭窄部を含むため大規模な盛土のり 面崩壊を生じる可能性は低いと判断。地下水 の潜在性有り。	B2	工場	村道	無	9	変形
27	大字泉崎	13785	-	-	-	0	-	×	-	谷埋め型	1987年~1997年	標準	標準	標準	標準	并桁掩壁	該当	無	無	無	無	無	無	不明	\$62	後	30. 1	小	盛土自体が地下水により大規模なすべり崩壊 を生じる可能性は低いと判断。被害形態は豪 雨等による表層浸食の拡大崩壊を想定。	С	無	国道	無	е	崩壊
28	大字泉崎	5293	-	-	_	0	_	×	_	谷埋め型	1987年~1997年	標準	標準	標準	標準	積ブ ロック	該当	無	無	無	無	無	無	不明	\$62	後	7.7	小	旧地盤形状から地下水の影響等により大規模 なすべり崩壊を生じる可能性は低いと判断。	С	無	無	無	е	崩壊
29	大字泉崎	5854	-	-	-	0	-	×	-	谷埋め型	1987年~1997年	標準	標準	標準	標準	該当無	該当	無	該当無	無	無	無	可能性有	不明	S62	後	30. 1	小	地下水の潜在性はあるが盛土自体の形状から 大規模なすべり崩壊を生じる可能性は低いと 判断。	B2	無	鉄塔	無	θ	崩壊
30	大字泉崎	27654	-	-	_	0	-	×	_	谷埋め型	1987年~1997年	標準	標準	標準	標準	該当無	該当	無	該当無	無	無	無	可能性有	不明	\$62	後	2.8	小	造成面に対して形状は網長い谷を埋めた盛土 の範囲で、盛土高が低く形状から大規模な崩 壊に至る可能性は低いと判断。	B2	工場	村道	無	е	変形
31	大字泉崎	361498	-	-		0	_	×	i —	谷埋め型	1987年~1997年	標準	標準	標準	標準	該当無	該当	無	該当無	無	無	無	可能性有	不明	\$62	後	42. 4	小	不規則に谷を埋めた盛土で大規模なすべり崩壊を生じる可能性は低いと判断。のり面排水 工や保護工に浸食・破損箇所を確認。	B2	工場	村道	無	θ	崩壊
32	大字泉崎	5459	_	-	-	0	-	×	_	谷埋め型	1987年~1997年	標準	標準	標準	標準	并桁掩整	該当	無	無	無	無	無	無	不明	S62	後	30, 1	小	盛土のり面の形状は現況で安定していると判 断。盛土高が高いため被害形態は豪雨等によ る表層浸食からのすべり崩壊と想定。	С	無	鉄道	無	е	崩壊
33	大字泉崎	32215	-	-	_	0	-	×	_	谷埋め型	1987年~1997年	標準	標準	標準	標準	L型	該当	無	無	無	無	無	無	不明	\$62	後	7.7	小	盛土のり面の形状は現況で安定しているが、 盛土高が高い事により被害形態は豪雨等の表 層浸食を要因としたすべり崩壊と想定。	С	工場	村道	無	е	崩壊
34	大字泉崎	70802	-	-	-	0	-	×	1-1	谷埋め型	1987年~1997年	標準	標準	標準	標準	該当無	該当	無	該当無	無	無	無	無	不明	S62	後	7.7	小	盛土のり面の形状は現況で安定しており、被 害形態は盛土高が高いため表層浸食を要因と した盛土のり面のすべり崩壊と想定。	С	無	村道	無	е	崩壊
35	大字泉崎	-	-	16	11	-	*	×	-	腹付け型	1992年~2000年	標準	標準	標準	標準	該当無	該当	無	該当無	無	無	無	可能性有	不明	H4	後	5, 5	小	盛土高は10m程度で現状では大規模なのり面 崩壊を生じる可能性は低いと判断。造成時か らの圧密沈下範囲を確認。	B2	58戸	集会所	無	a	崩壊
36	大字泉崎	6645	-	-	-	0	-	×	-	谷埋め型	1975年~1987年	標準	標準	標準	標準	終化拖壁	該当	無	無	無	無	無	無	不明	\$50	後	0.7	小	造成面内の局部的な盛土の範囲で盛土高が低く大規模な崩壊に至る可能性は低いと判断。 経丘線地内の広い造成面の一部で端土高が低	С	無	村道	無	θ	変形
37	大字泉崎	69368	-	-	-	0	-	×	_	谷埋め型	1975年~1992年	標準	標準	標準	標準	該当無	該当	無	該当無	無	無	無	無	不明	\$50	後	1.0	小	くのり画部で大規模な崩壊に至る可能性は低 いと判断。	С	無	村道	無	е	変形
38	大字北平山	3575	-	-	-	0	-	×	-	谷埋め型	1975年~1987年	標準	標準	標準	標準	-	該当	無	該当無	無	無	無	可能性有	不明	\$50	後	2. 8	小	道路盛土を含む造成地盤で盛土高が低く大規 模別域に至る可能性は低いと判断。現造成面 の下部には軟弱地壁の分布が予測される。 2011年開始に連続かた数分を推進しており	B2	無	老人福 社セン ター	無	в	変形
39	大字間和久	-	-	9	13	-	*	×	1-0	腹付け型	1975年~1987年	標準	標準	標準	標準	199	該当	無	亀裂	表層 崩壊		有	可能性有	不明	\$50	後	7.7	小	2011年震災時に摘蟄や宅盤が被災しており、 現況は盛土のり面に表層性の不安定土塊が形成されているため優先度は高いと判断。 2011年開発を開始した数が後間しており	A4	8戸	児童館	無	е	崩壊
40	大字関和久	-	-	13	9	-	*	×	-	腹付け型	1975年~1987年	標準	標準	標準	標準	199	該当	亀裂	亀裂	無	無	有	可能性有	不明	\$50	後	2.8	小	2011年震災時に挑壁や宅盤が被災しており、 接壁の排停跡や路面部亀裂の変状補修跡が明 壁であるため優先度は高いと判断。 2011年開発時に映跡の登録が後端によなり	A4	13戸	村道	無	С	擁壁倒均
41	大字関和久	-	-	7	5	_	*	×	-	腹付け型	1975年~1987年	標準	標準	標準	標準	積ブ ロック	該当	亀裂	亀裂	無	無	有	耳能性有	不明	\$50	後	1.0	小	2011年震災時に排壁や宅盤が被災しており、 現況は排壁の広範囲な補修跡や湧水跡が明瞭 である事から優先度は高いと判断。	A4	26戸	村道	無	С	擁壁倒均

※泉崎村協議により大規模盛土造成地として採用

被害規模の大きさ	大 ← /										
被害規模ランク	a	ь	С	d	0						
滑動崩落が生じた際の共享担抗	非常に大きい	大きい	中程度	やや小さい	小さい						

$\overline{}$		保全対象の公共施設等の数							
		2つ以上該当	1つ該当	該当無					
PAHA	50戸以上		b	C					
除主対象	10~50戸	b	0	d					
	1~9戸	0	0						